

第141回 ふじのくに防災学講座

- 日 時 令和4年2月19日（土）午前10時30分～正午
- 開 催 Zoom

テーマ「災害の伝承を読み解くー語り継がれたハザードマップー」

講 師 静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授 にほんまつ やすひろ 二本松 康宏 氏

（講演概要）

土石流や地すべり、山崩れなどは古くから「蛇抜け」とか「蛇崩れ」と呼ばれてきた。土砂災害は大蛇が山や谷筋を抜け出すことで発生すると考えられたのである。溪谷が濁流と化して崩れ落ちるさまが大蛇に見立てられたともいう。遠い災害の記憶が、ときとして伝説の中に潜む。それは歴史資料にも碑文にも記されていない「心と記憶のハザードマップ」でもある。災害の伝承を読み解くとき、その先に見えてきたのは現代に生きる知恵と誇りだった。

